

第1回 杉並区立桃井第一小学校改築検討懇談会

会 議 名	第 1 回 杉並区立桃井第一小学校改築検討懇談会
日 時	令和 8 年 6 月 29 日（月）14 時 00 分～16 時 10 分
場 所	桃井第一小学校 多目的室
出 席 者	< 委員 > 学識経験者：阿比留 久美 清和会：吉田 武雄 中通明和会：藤井 謙 上荻中央町会：織茂 美保 上荻親和会：青木 謙一 宿町町会：田中 奈那子 桃井第一小学校 保護者：土手 利行 桃井第一小学校 学校支援本部：齊藤 えり子 桃井第一小学校学童クラブ 保護者：篠寄 智子 桃井学童クラブ 保護者：川口 未来 桃井第一小学校校長：清水 明 桃井第一小学校副校長：佐藤 祐三 懇談会委員 12 名（欠席 4 名） < 事務局 > 学校運営担当部長：小松 由美子 学校運営課長：安川 卓弘 学校整備担当課長：白石 輝彦 教育施設計画推進担当係長：武鐘 宏史 教育施設計画推進担当係長：岡本 智彦 学童クラブ整備担当課長：千葉 俊明 学童クラブ整備担当係長：村本 真一 学童クラブ整備担当係長：中西 孝徳
傍 聴 者	0 名
次 第	1 開会 2 教育委員会事務局学校運営担当部長挨拶 3 出席者・事務局紹介 4 進行役選任 5 桃井第一小学校の特色について 6 桃井第一小学校の改築概要について 7 意見交換 8 事務局からの連絡事項
資 料	資料 1 杉並区立桃井第一小学校改築検討懇談会委員名簿 資料 2 杉並区立桃井第一小学校改築検討懇談会運営要綱 資料 3 令和 8 年度学校要覧（当日配布）

	資料 4 桃井第一小学校の改築について（当日配布）
	参考資料 1 杉並区立学校施設整備計画（第 2 次改築計画）
	参考資料 2 杉並区学校施設整備計画（概要版）
	参考資料 3 杉並区教育ビジョン2022（概要版）
	参考資料 4 席次表（当日配布）
	参考資料 5 天沼中学校校舎改築ニュース（創刊号）
	参考資料 6 杉並区立天沼中学校改築基本設計まとめ

教育施設計画 推進担当係長	皆様、お待たせいたしました。時間になりましたので、僭越ながら始めさせていただきますと思います。 私は、学校運営課の教育施設計画推進担当係長の武鐘と申します。よろしくどうぞお願いいたします。 本日は、お忙しい中、桃井第一小学校改築検討懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、懇談会委員を快くお引き受けいただいて誠にありがとうございます。ただいまから杉並区立桃井第一小学校改築検討懇談会を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。 進行役を選任させていただくまでは、私、武鐘のほうで会の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 本日の懇談会は、2 時間程度の予定です。進行につきましてご協力のほど、よろしくお願いいたします。 それでは、開会に先立ちまして小松学校運営担当部長からご挨拶を申し上げます
学校運営担当 部長	皆様、こんにちは。運営担当部長です。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、ご多用のところ皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 区では「杉並区教育ビジョン」や「学校施設整備計画」等に基づいて、長寿命化が望めない老朽化した学校施設を計画的に改築しているところでございます。 その中で、桃井第一小学校は明治 8 年、区内で 2 番目に早く創立されて、昨年創立150周年を迎えたという、古くから学校関係者や保護者の方々、地域の方々等、そういった多くの関係者の方々に子どもたちの学びなどが支えられてこられた歴史のあるすばらしい学校と存じ上げているところですが、こちらの学校では、今ある施設で古いものは昭和37年に設立されて、その後、増築もされておりますが、築60年を超

	えた施設のある学校ということで、改築を検討していきたいという運びになったところでございます。 区では、改築を行う際には改築検討懇談会、こういった会を設けまして、学識経験者や学校・学童の関係者の方々、地域の皆様からご意見などを伺って、こういう学校にしようということを区が決めてまいります。このような皆様のご意見を頂く機会として本日の検討会を開催させていただきます。 今後、皆様から多くのご意見などを頂きたいのですが、その際にはぜひ子どもたちにとって安全・安心で、快適に過ごせて、そして多様な教育に対応できる学習環境を確保することや、将来の学級数の変化などに柔軟に対応できること、更に誰もが必要に応じて学び続けられて、人が交わりつながる基盤となる学びのプラットフォームとして、地域住民の活動の場となるような機能を充実させること、加えて、災害時の拠点としての整備を行うことなどの視点がとても重要になると考えております。 本日は、ぜひ学校改築に向けまして、ただ今申し上げましたような視点などを踏まえまして、新しい学校がこんな学校になるといいとか、今までこういうところが不自由だったので改善されるといいとか、そういった皆さんの学校施設に対する課題や思い、夢などを語っていただけたらとてもうれしく思います。 最後に、この懇談会は本日を第1回として、今後來年の5月まで全部で9回の開催を予定してございます。長期間にわたって皆様のお時間を頂戴いたしますが、これもひとえに子どもたちの教育施設がよりよくなるように、また、地域の拠点として開かれた学校として多くの区民の施設需要に応えられて、柔軟性のある学校改築を行うためでございますので、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございました。 それでは私から、資料がたくさんございますので、その確認をさせていただきます。 事前に郵送させていただいた資料と、本日新しく席上配付した資料がございます。資料の一覧ですが、事前に配付した次第という資料がございます。その真ん中から下のところに配付資料、それから参考資料のリストがございますので、そちらを見ながらご案内したいと思います。 まず、資料1ですが、こちらは事前配付資料となっております委員名簿になります。

	その次が資料２、本懇談会の要綱になります。これも事前配付資料です。 続きまして、資料３ですが、「学校要覧」といいまして、これが本日新しく配付した資料になります。 続きまして、資料４「桃井第一小学校の改築について」。こちらも当日配付資料になります。Ａ４横の資料になります。 配付資料は以上の４点でございまして、残りが参考資料になっております。参考資料は事前送付です。 参考資料１「学校施設整備計画」。ホチキス留めです。 参考資料２がＡ３のペラの先ほどの施設計画の概要版になっております。 続きまして、参考資料３「教育ビジョン２０２２」。Ａ３ペラになっております。 参考資料４ですが、本日配付の席次表になります。 参考資料５「天沼中学校校舎改築ニュース」になります。 最後ですが、参考資料６です。Ａ４横、ホチキス留めになっております。「天沼中学校改築基本設計まとめ」の資料になります。 そのほかに、席上配付させていただいたＡ４の１枚の紙がございまして、１つ目が「ご感想シート・アンケート」、もう１つが「メールアドレスの提供について」。この２点になります。 資料がたくさんありますが、大丈夫でしょうか。 次の議事に進ませていただきます。懇談会を進めるに当たりましてお願いがございします。会議は原則公開となっております。また、会議資料や会議録も原則公開となり、杉並区教育委員会のホームページに後日掲載します。会議の記録のため録音・撮影をさせていただくことをご了承くださいますよう、お願いいたします。 また、１つ皆さんにお諮りしたいのですが、会議録については発言者の氏名を伏せた形で、例えば、委員ですとか進行役ですとか、そういった表記にしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。発言者氏名を記載することも可能なのですが、記載しない方向で大丈夫ですか。
	(「異議なし」の声あり)
教育施設計画 推進担当係長	では、記載しない方向で進めさせていただきます。ありがとうございます。 また、懇談会を傍聴したいと希望された方がいらっしゃる場合は、基本的に認めることになっておりますので、あらかじめご了承ください。なお、傍聴者は発言ができませんのでご了承ください。ちなみに本日で

	すが、事前に傍聴されたいという希望者はございませんでした。 本日配付した資料につきましては、第2回懇談会以降も使用する場合がございますので、お手数ですが、次回以降もご持参をお願いいたします。 では、次の議事に進めさせていただきます。「出席者・事務局紹介」です。お手元の資料1を御覧ください。 大変申し訳ないのですが、1点訂正がございます。ナンバー3の清和会の吉田武雄様の備考欄なのですが、ここには副会長という文言が入りますので、大変申し訳ありませんでした。訂正をお願いいたします。 本日の出席状況ですけれども、事前に3名の方から欠席の連絡を受けております。 あと、まだお見えになっていない方もいらっしゃいます。事前に連絡はありませんが、よろしくお願いいたします。 それでは、本日は第1回目なので、顔合わせという意味で一人ずつ簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。
	(委員自己紹介)
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございました。 引き続きまして、事務局職員と関係課職員になります。こちらにつきましては、先ほどの資料1の裏面を御覧ください。こちらの名簿をもって紹介とさせていただきますので、よろしくどうぞお願いいたします。 資料1の次に資料2がございます、これも事前配付資料ですけれども、本懇談会の要綱になっております。懇談会の目的ですとか工程ですとかが記載されていますので、お目通しいただければありがたいです。 続きまして、本懇談会は学校関係者の方ですとか町会、自治会、学識経験者等、様々な方面から委員としてお集まりいただいております。議事の円滑な進行を担う役割としてどなたかに懇談会の進行役をお願いしたいと思っておりますが、これまで他校の改築検討懇談会では校長先生をお願いしておりました。今回も桃井第一小学校の清水校長先生に進行役を担っていただきたいと思いますと思っておりますが、いかがでしょうか。
	(「異議なし」の声あり)
教育施設計画 推進担当係長	ありがとうございます。では、清水校長先生に進行役ということで、ここからは校長先生に進行役をお願いいたします。
進行役	それでは、ご指名ですので進行役を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 先ほどの次第に沿って進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。なお、会の進行上、質問等については適宜時間を取らせてい

	たきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、次第5「桃井第一小学校の特色について」、委員から説明をお願いいたします。
委員	そうしましたら、資料3「学校要覧」を御覧ください。こちらは令和8年度学校要覧とありますが、完成版ではなく、まだ作成途中のもので、後ろの教室配置図の中身と表紙の下のところにホームページにアクセスいただけますというQRコードがありますが、こちらのほうは7月以降ホームページのシステムが変わることによって、前のホームページにアクセスするようになっておりますので、その点だけご承知おきください。 桃井第一小学校は、4つの教育の柱というのを打ち出しております。目指す児童像が「かしこい人になろう」で、その下に「考える人になろう」「家で勉強できる人になろう」「本をたくさん読もう」「体を動かそう」。これは子どもたちに向けて学校の教育感を分かりやすく示した言葉になっています。 開いてください。左上に令和8年度スローガンというのがありますが、「みんなでチャレンジ 咲かせよう笑顔」となっています。これは昨年度の3学期のうちに、次年度に6年生となる5年生にアンケートを取って、学校のスローガンをみんなで考えて毎年つくり上げているものになります。子どもたちの中から真ん中にあるような言葉が出てきて、その上でそちらのスローガンを決定しています。 教育活動の4つの柱ということで、「学力向上」「からだ力向上」「授業力の向上」「インクルーシブ教育」ということを挙げています。 「学力向上」は一人一台のタブレットを活用して、基礎基本の定着と、自ら学び考える力の育成を進めるということを目指しています。 「からだ力向上」は、運動能力だけでなく食育、基本的な生活習慣を含めた総合的な力として、「からだ力」というのを提唱していて、こちらへの取組は本校は18年目になります。それだけの長い間「からだ力向上」ということを継続して行っており、毎週2学年ずつ、「からだ力タイム」というのをつくって、5分間走ですとか、長縄跳びなどを行っています。その他様々な、体育などでもサーキットと言って、体のいろいろなところを動かす運動を帯で入れるなどして、子どもたちの「からだ力向上」に努めています。 左下の「授業力の向上」は、「教員の授業力を向上させ、児童の学力向上、からだ力向上につなげていきます」とありますが、特に、研究授業を年に6回各学年で行い、その研究授業の前段階の授業を全教員が公

	開する。その公開した授業をお互いに見合って、コメントし合って授業力を向上させるということを行っています。 最後に、「インクルーシブ教育」。これは「できないことをほったらかしにしない」と分かりやすい言葉になっていますが、排除しない教育ということで、これは特別支援の視点からだけでなく、一般的な児童も含め、支援が必要な児童たちをほったらかしにしないということを大切にしています。 特に、教室にいられない児童について、昨年までは校長室でその子たちを引き受けてということ为先代の校長先生がされていましたが、それは属人的なことで今後も継続するということが非常に難しいということで、清水校長先生が来られてからこちらの別室登校の教室を「桃ちゃんルーム」と名づけまして、今まで会議室だったところを毎日その子たちのために解放するという活動を始めています。そちらのほうには教育委員会と清水校長先生が交渉して人もつけていただきまして、通常学級支援員ですとか学校支援本部から毎日1人以上来ていただいて入っていただくということで運営を行っているところになります。 右下に教職員一覧がありますが、こちら全部入れて、さらに給食のスエヒロというところが入ってくれているのですけれども、そこも10名以上の職員がいて、100名近い教職員が学校で働いている。何かしら携わってくださっているということになります。学校支援本部を入れると恐らく120とか130とか、そういった人数になってくる。それだけの方たちに支えられて今教育活動を行っているところになります。 裏表紙を御覧いただくと、先ほど教室配置がちょっと違うと申し上げたのですが、これは1年生があと2人で5クラスになるといった段階での教室割りになっていまして、現在はこれとは違う教室割です。 25学級あります。本日日本語指導の教室も含めると教室が足りなくて、いつもだこの多目的室が日本語指導の教室になっているのです。今日はこの会議のために放送室で日本語指導をしてもらっている。それくらい教室が足りないぐらい、たくさんの児童・職員がいる。そういう学校ということになります。 短いですが、以上になります。
進行役	今いらっしゃった方、自己紹介を。皆さん自己紹介を簡単にいたしましたので。
	(委員自己紹介)
進行役	それでは、議事に戻ります。次第6「桃井第一小学校の改築概要について」ということで、事務局から資料の説明をお願いします。

教育施設計画 推進担当係長	私から資料４と参考資料として１から３まで併せて説明させていただきたいと思います。 まず資料４です。１枚おめくりください。１番「改築の経緯」となっております。 「桃井第一小学校の歴史」ですが、皆さんご存じのように大変古くて、明治８年開校。西暦に直しますと1875年になりますけれども、今年で151年前に開校となります。明治9年に桃井学校になりまして、ずっと時代を経て昭和39年に最初の鉄筋コンクリート造の校舎が竣工になりました。これが昭和39年なので62年前となっております。 その下、「改築計画の具体化」ということで、記載のとおり、実行計画で計画がされまして、本日、改築検討懇談会設置の運びになりました。 続きまして、３ページ目を御覧ください。校舎等の建築時期ですが、増改築を繰り返してきた歴史がございまして、場所によって建築時期が異なっております。Ｓが昭和、Ｒが令和になっております。 一番古い建物が校庭の左側にある体育館が一番古くて、こちらが昭和37年建築となっております。これに続いて古いのが北側の校舎の真ん中あたりです。「管理・教室棟」というのがありまして、こちらが昭和39年になっております。その後順次増築していった経緯がございまして、一番新しい建物が校庭の右下です。令和４年に「桃一小学童クラブ棟」ができています。ここが一番新しい建物になっています。 続きまして、１枚おめくりいただいて４ページを御覧ください。「桃井第一小学校の概要」となっております。 令和８年度で児童数は記載のとおりになっておりまして、それ以降の推計としてはだんだん下がって少なくなっていった、令和12年度は児童数700人くらいになるのではないかとということで、ここで推計値として出しております。 あと敷地面積ですとかそういった情報はその記載のとおりとなっております。 続きまして５ページになります。 桃一小の学区内には、学童クラブが２つほどございまして、桃井学童クラブと桃一学童クラブです。 桃井学童クラブのほうは桃井児童館の中にありまして、ちょうど桃井第一小学校の東の２ブロック先くらいにある建物になります。 桃一学童クラブについては、桃井第一小学校の敷地内にあります。 入会児童数は記載のとおりになっておりまして、定員最大数、あと待機児童が桃井学童クラブにあります。また、広さ等についてはそこに
--------------------------	---

記載のとおりになっております。

駆け足で申し訳ないのですが、1枚おめくりいただいて6ページになります。こちらは桃一小の地域の建築制限を記載した地図になっております。

濃い緑色の用途地域が第一種中高層住居専用地域となっております。下の青梅街道沿いは商業地域となっております。あと、この地図を御覧のとおり、学校の北側と東側が第一種低層住居専用地域といまして、閑静な住宅が広がっている状況を示したところです。

続きまして7ページを御覧ください。ここからこの資料4を開きながら、参考資料1「学校施設整備計画」を順次参照しながらご案内したいと思っております。

資料4「杉並区の学校と施設の状況」ということで、①「施設の老朽化」がございます。参考資料1は5ページをお開き願います。

「区立小・中学校のうち、約6割以上が築50年以上を経過し、老朽化による更新時期を迎えている」ということです。参考資料1を見ますと、この資料ができたのが令和3年の始まりぐらいなので、このデータでいいますと、令和2年5月1日時点になっているのでちょっと古いデータになっております。

これは区立小学校の一覧ですが、この表の左側から5個目の「校舎築年数」を御覧いただくと、64とか61とか結構50年以上経過した建物が結構な数出ていることが分かります。これは小学校なのですけれども、次のページ、6ページになりますが、中学校の一覧になっておりまして、同様に校舎の築年数を御覧いただくと50年以上が結構出ているという状況になっております。

では、資料4、②「児童数の推移」です。

「昭和50年代をピークに減少傾向になった児童の数は、平成17年から増加傾向にあったが、令和8年に減少に転じており、中長期的に見てこれが続くことが見込まれる」と書いてありまして、参考資料1の9ページを御覧ください。グラフが2つあると思いますが、図表11というのがございまして、青い縦グラフが児童数になっており、平成17年度が一番低く、そこから増加傾向にあるということが、このグラフで分かる形になっています。

では、行ったり来たりで申し訳ないのですが、資料4の③「改築経費」と書かれております。

「工事費が年々増加傾向にあり、改築規模のスリム化と経費縮減の取組が求められている」と書いておりまして、これについては、参考資料

1の10ページ、11ページを御覧ください。

10ページのグラフの下のところ、施設規模や付帯設備などいろいろと「改築条件によって経費が異なりますが、年々、費用が増加傾向にあることが分かります」ということで、このような説明になっております。

11ページの上のグラフがございまして、「近年の改築工事費」というのがございます。一番左端の方南小と一番右端の高円寺学園でかなり差があります。この金額は、下に表がございまして、一番上の方南小、これは平成18年から19年にかけて24.3億円だったのが、一番下の高円寺学園が76.0億円。これは平成28年から令和元年度になっております。ただ、高円寺学園については、杉四小と杉八小と高円寺中学校と3つの学校が統合したものですから特に高くなっておりまして、もし参考にするのであれば、もう1つ前の下から2番目の桃井第二小学校。こちらが平成29年から30年の改築時期なのですけれども、38.4億円かかっているということで、かなりこれだけでも増加していることが分かります。

では、資料4に戻りまして、④「学校内の子どもの居場所」です。

区立学童クラブについては全体で55施設あり、そのうち学校施設内にある学童クラブは22施設となっております。小学校で実施する放課後等居場所事業は令和9年度までに全校実施を予定しており、令和8年度で29校実施となっております。

これについての説明は、後ほど学童クラブの説明が資料4の後ろについていますので、そこでまとめて説明したいと思います。

続きまして資料4の8ページを御覧ください。「学校等の目指すべき姿」ということで、これに対応するのが参考資料1の14ページを御覧ください。

「安全・安心で快適に過ごせる学習生活空間の整備」ということで、これに対応するのが参考資料1の14ページの一番下の丸ポチで「安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備」とありますが、こちらに対応しております。ここに事例とかも書いておりますので、こちらを御覧いただくとイメージしやすいと思います。

同じ対応関係で、資料4の「多様な教育に対応できる学習環境の整備」というのが参考資料1の15ページ、一番上になります。ここに詳しい内容が書いてありまして、事例も書いてあります。

その下も同じように、「地域の拠点となる開かれた学校づくり」、それから「将来転用可能な柔軟性のある施設づくり」。こちらも参考資料1の15ページに大きな丸ポチで説明がございます。

最後の「環境に優しい施設づくり」だけ参考資料1の16ページにござ

います。上のほうに「環境に優しい施設づくり」というのがございまして、その説明と事例が載っておりますので、こちらのほうも参照願います。

では、資料４の②「学校施設の標準規模」というのがございまして、「改築規模の見直しによるスリム化への取り組み」ですとか、「地域の核となる施設としての適切な施設規模の確保」、それから「小学校の標準建物面積として18学級規模で7,200平米」というのがありますが、これについての説明は参考資料１の16ページから17ページにかけてあります。16ページ目の下のところで、「学校施設の標準規模」というのがここに書いております。

第２章（１）で示したとおり、近年改築した学校施設は建物面積が大きくなっております。「第２章の（１）」というのが、参考資料１の５ページで、先ほど御覧いただいた小学校の一覧になっておりまして、右から２列目を御覧いただくといいと思うのですが、校舎面積等が書いております。3,000平米台とか4,000平米台とか続くと思うのですが、12番目の桃井第二小学校、こちらは平成30年度に造られておりますが、7,433平米。17番目を見ると7,282平米ですとか、新しい校舎のほうが面積は大きくなっております。それは中学校も変わらない状況でして、あとで６ページを御覧いただければと思います。

その理由が、８ページ目を御覧ください。真ん中辺りの文章で「建物面積は増加傾向にあることが分かります」と書いてあり、その後ろが多目的スペースですとかオープンスペースですとかランチルームですとか共用部分とかが増加したということによります、と記載されております。

参考資料の16ページに戻りまして、先ほど申し上げたようにスリム化が必要ということだけれども、その段落下「そうは言っても適切な施設規模の確保が重要となります」ということがありまして、「標準の建物面積というのを定めています」というのが次のページに書かれています。小学校については7,200平米ということで、その次のページを御覧いただけますか。18、19ページ。左側が小学校の標準建物面積一覧になっていまして、右側が中学校のそれです。いろいろな部屋があるのだなと御覧いただければ大丈夫です。

資料４に戻りまして、③「安全・安心な放課後の居場所の確保」ということで、学童クラブ及び放課後等の居場所事業につきましては、後ほどご説明いたします。

１枚おめくりいただきまして、資料４の９ページを御覧ください。「改

	築検討における主な視点」ということが出ております。先ほど申し上げたことと重なる部分が多いのですけれども、上から6番目「これまでのおおむね築60年を改築時期としていたが、今後は築80年程度まで活用することを目指す『長寿命化』の考え方に基づく施設整備の実施」というのが書かれております。これについては、参考資料1の22ページを御覧ください。
委員	すみません。基本的に1つの教室に何人の生徒を基準にしているのか、その辺を知りたい。何人クラスを基準にしているのか。それで人数が決まってしまうと思うのだけれども、そういうことは全然考えていないのですか。お部屋の説明はたくさん頂いているのだけれども。
学校整備担当課長	学校整備担当課長の白石と申します。説明が長くなっていて申し訳ないのですけれども、こういった前提についてまず皆さんに共有して、その上で第3回ぐらいに、今、桃一小の推計等もありますので、大体何人学級ぐらいのものを考えているとか、今申し上げたこういった諸室ありますので、こういった部屋を基本的に区としては考えているということをお示しして、具体的な議論をしていただくということを考えておりますので、まず前提条件のお話というところでご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。
委員	分かりました。結構です。ありがとうございます。
教育施設計画推進担当係長	長寿命化はその記載のとおりなのですが、なるべく長く使い続けようということで、節目の年に修繕等を行うような計画の話し合いを持たれているので、ここは読んでいただければ大丈夫です。 続けて、資料4の10ページ、11ページを御覧いただけますか。10ページはまた後ほど説明の機会がございますので、そちらでご説明いたします。 11ページは令和8年度から令和15年度の改築スケジュールとなっております。 一番下の※印を御覧いただきたいのですが、これはほかの学校における標準的なスケジュールをただ当てはめただけなので、いろいろな条件によって工事期間は前後する形になります。 流れとしては、設計、基本設計、実施設計が令和8年度から10年度までございまして、10年度くらいから仮設校舎の建設、11年度が旧校舎の解体、12年度から14年度が新校舎の建設、新校舎ができましたら仮設校舎や旧校舎をもし使用していればこちらは要らなくなるので解体。最後が校庭等を整備する環境整備工事という形になります。ただ、これは先ほど申し上げたように標準的なスケジュールを当てはめただけでござ

	いますので、よろしくお願いいたします。 続きまして、先ほどの学童クラブの関係の話です。参考資料「子どもの居場所基本方針」ということです。 では、学童クラブ整備担当から。
学童クラブ整備担当課長	今回、桃井第一小学校の改築に併せて、学童クラブを入れられないかなと思っています。その上で、まずは杉並区の小学生の居場所に関する基本的な考え方をご説明させていただいて、その後我々が桃井第一小学校の周辺でこういった事を考えているという形で、資料3枚ほどでご説明させていただきたいと思います。 まず、12ページを御覧ください。参考説明①ですが、「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」というところになります。 これはご存じの方もいるかもしれませんが、これまで杉並区におきましては児童館を再編していったその機能を小学校の中に入れていくという取組を過去行っておりました。ただ、児童館の再編について様々なご意見があったものですから、検証の取組を行いました。その上で、新たに杉並区が子どもの居場所の指針としてつくったものが、令和7年1月に策定した「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」ということになります。その中で3つ、大きく小学生に関わる事業・施設の考え方を説明させていただきます。 まず1点、「児童館」ですが、児童館につきましては、これまでの児童館再編の考え方を見直して、今25の児童館が残っているのですが、それを残そうと。併せて、不登校であるとか福祉的課題、様々出てきているところもございますので、そういった機能・役割を強化していこうということにしております。併せて、現時点で中学校区に児童館がない地域、これは7中学校区ほどありますが、ここが児童館のない地域になってしまっているのが、今後ほかの施設との複合化を前提に新たな児童館の整備を検討していこうということになっております。 次に、「放課後等居場所事業」でございます。これは既に桃井第一小学校の中でも始めさせていただいておりますが、小学校の中で放課後、就労要件にかかわらず子どもたちに遊んでもらう事業でございます。これを令和9年度までに全ての区立小学校で実施していこうということを掲げております。その令和9年度の全校実施に併せてできれば諸室の利用拡大、あとはおやつを提供を開始するなど、事業を拡充していこうということを目指して掲げております。 最後に「学童クラブ」なのですが、これは児童館再編整備の取組を進めてきたときから通所面の安全を考慮して小学校の中へ整備していこ

うという方針があったのですけれども、これについてはそういったお声やニーズが非常に多いので、引き続き小学校内への整備を進めていこうということにしております。

そして、先ほど放課後等居場所事業を充実するというお話をしましたが、これによりまして成長段階に応じて安全・安心に過ごせる環境が全小学校に整うということがございますので、令和9年度から利用対象を原則1年生から3年生及び障害等のある児童に見直すという予定になっております。

これが「子どもの居場所づくり基本方針」として主に小学生に関わる子どもの居場所の区の大きな考え方でございます。

その上で13ページを御覧ください。先ほど申し上げた考え方に照らして、「桃井第一小学校地域の子どもの居場所（目指す姿）」と書かせていただいております。

まず「桃井児童館」です。桃井児童館は、基本方針の考え方にのっとって存置、そして福祉的課題などの機能・役割を強化していきたいと。あと、館内に学童クラブがございます。これにつきましては学校内に入れていくという考え方をもって小学校内に移転整備をしたいと思っております。

次に「放課後等居場所事業」でございますけれども、既に桃井第一小学校内で実施しておりますが、令和9年度からはおやつの提供を開始する予定としております。

そして、最後「学童クラブ」でございますけれども、既に小学校内でプレハブの桃一学童クラブがございますが、これだけでは需要に足りないというところになりますので、学校改築に併せて学童クラブを整備したいと思っております。

最後14ページです。ここでは「桃井第一小学校地域の対応学童クラブの状況」というところを、令和3年度から令和8年度の状況、これは表の左側でございます。令和3年度につきましては、登録児童と待機児童合わせて125名でした。ただ、その後学童クラブの需要が増加していったことにより、令和8年度におきましては合計203の需要があつて、待機児童としては4出ているということになっております。

なお、こちらの資料の4ページ「桃井第一小学校の概要」というところで、児童数の推計が出ております。令和8年度4月時点で793人ということで、この後減少傾向が見られて、令和12年度には702人という形になるのではないかと推計が出ておりますが、確かに学童クラブも児童数の減少によって需要はいつかピークアウトしていくというのは

	見えているのですが、ただ、桃井第一小学校でいいますと、令和３年度の小学校児童数に対する登録と待機の割合で言うと、私は需要率という呼び方をしますが、令和３年度で桃井第一小学校の子どもに対して15.8%の需要がありました。ただ、令和８年度におきましてはそれが25.6%に上がっているということになりますので、子どもの数が減ったとしても共働き家庭の増加によって学童クラブの需要は上がっていくという傾向が見られますので、当面の間はよくて横ばいではないかなと思っていますところでございます。 ちょっと矢継ぎ早で申し訳ありませんが、私から区の小学生の居場所の考え方、そして桃井第一小学校の地域に関する考え方をご説明させていただきました。ありがとうございます。
進行役	それでは一旦事務局からのご説明ということでしたが、ここまでの桃井第一小学校の特色や改築の概要、参考資料についての説明について、委員の皆様からのご質問を受け付けたいと思います。 よろしくお願いします。
委員	事務局の方、資料をまとめていただいて、説明いただいてありがとうございました。 ３点ほど質問がありまして、まず１つ目。たたき台については今この場で決めるべきだと思っています。なぜかと言うと、天沼の資料を参考に頂いたので、金曜日から読ませていただいたのですが、Ａ案、Ｂ案、Ｃ案が出た後の意見を頂いてからの、結局Ａ案、Ｂ案、Ｃ案どれにするかというアンケートなのですよね。結局意見を融合した改正案、例えばＡプラスＢ案とか、Ｄ案、Ｅ案、Ｆ案といったものが出てきていないということが１つ。 それから、先ほど他の委員が言ってくださいましたけれども、基本方針みたいなのところのたたき台がないと、今度どこかの小学校を見に行くときの私たちの視点というものが、全員がそろそろ、もしくはこういった視点もあるのではないかみたいなものが考えられないなと思ったので、この場でたたき台をつくり出していただきたい。もしくは、学校運営のほうからあるのであれば提出いただきたいと思っています。 ２点目。これはたたき台についてで付与したところなのですが、改築に当たる費用。マックスどこまで出せるのか。 今2018年の先ほどの小学校の38億円を基にしてくださいとおっしゃいましたが、コロナの前で、コロナ禍と今の物価上昇率を考えたら倍以上になりますし、昨年行われた大阪万博は、結局最初の額よりも５倍以上とかすごく額が上がっている中なので、どこまでマックス出せるの

	か。マックスと言うか、ここを基本と考えていますという金額を知りたい。金額の基で多分どういった部屋を入れていくのか、どういった施設がつくれるのか。例えばプールだったら屋外がいいのかそれとも室内に造るのか、防災環境をどうするのかという例を入れられるなと思ったので、多分見積りを出されていると思いますので、確認をしたいと思っています。 最後３点目。これが娘からの質問です。小学校３年生の娘が私に言いました。「今回の懇談会で保護者代表として学童クラブを代表して行くことになったんだけど」という話を娘にしました。そうしたら娘が「何でママが行くの。なぜ学童の人が行かないの」と。そうですね。だって学童クラブ併設するというのに、桃一の学童クラブの人も桃井学童クラブの人も来ないのです。 地域との関わりと言っているのに、保育園の先生、幼稚園の先生、それからこの後小学校から中学校に上がったときの中学校の誰か。そういった地域の関わりというところの一番子どもを原点としたときに関わる大人たちというのが保護者だけなのです。 確かに町内会の方々も来ていただいています。町内会の方々がお子さんたちを桃一祭りとかでよく出し物をやっていただけてすごくありがたいと思っているので、そういった関わりというものはあるのですけれども、密に関わっているのは学童の先生だったり、小学校に上がる手前であれば保育園、幼稚園の先生だったりとか、入学式にも来ていただきました。卒業式になったら中学校の先生が来られるのでしょう。そういった先生方、それから、前校長は桃一小の校長を10年間していました。それを今の校長先生は、前校長の考えのいいところを再現化するということがものすごくできるし、ほかのところで見てきているからこそその意見を伝えていただけたと思うので、ぜひこれは部長が任命すると、この会議であったので、ぜひとも学童クラブの人、前校長、あといろいろな様々な保育園や中学校の方も参加した状態での懇談会にしたいなと思っています。というところで、入れられないかという質問です。 お願いします。
進行役	事務局、よろしいですか。
学校整備担当課長	ご質問ありがとうございます。 まず１点目のたたき台、配置案とかそういったものについては、設計事務所に今入札の依頼をしていて、業者が決まってから提示するという流れなので、現段階ではお出しすることができないというのが１点と、配置案等、こうやってまとめてみると、そういったご意見もおっしゃる

	とおりでなと思うところですが、その前に、まずこの改築基本方針という、例えばこの天沼中学校改築基本設計まとめがございまして、11ページになるのですけれども、これは皆さんから、例えば今日第1回もアンケートなどを頂いたり、ご意見等を頂いたものをたたき台として第3回にお出しして、そこでさらにブラッシュアップするという流れです。 こういった大きな方針を基に、それに合う校舎配置であるとか教室配置というのはどういうものなのだというのを設計事務所に投げかけて、それを具現化したものを皆さんにお出しするというのが手順なので、進め方についてはご理解いただければと考えております。 2番目の費用については、委員のおっしゃるとおりで、学校施設整備計画の今出ている費用はコロナ前なので、少ないというのが正直なところではあります。 直近の令和6年度に入札をした神明中学校の校舎で、大体现時点で50億円を超えている状況になっています。なので、現在入札をかければもっと超えてくるのではないかとすることは想定しているところです。 金額を幾ら出せるのかというのは、基本的には財政当局との話し合いで、もちろん大体の目安はあるのですけれども、お幾らというのをお出しするというよりは、私たちとしては基本的にはこの学校であればこれぐらいの規模で、そうすると大体金額が出てくるのですけれども、こういった規模でやるということを財政当局と話をしながら金額は出てくるということなので、懇談会で例えば幾らだからこの枠に収めてくださいというやり方ではないので、そこについてもご理解いただければなというところで、目安としては大体今それぐらいで考えています。
委員	分かりました。言いたいのは絵に書いた餅にしたいなというのが1つです。例えば、先ほどプールの例を出しましたがけれども、今だったら熱で猛暑でプールは使えないとか出てくるので、屋内のプールにしましょうという話をしたけれども、結局屋内のプールにしますと言った瞬間に「金額が上限を超えるので無理です」みたいな。東京オリンピックのときがそうではないですか。すごくきれいなドーム型のものを書いたけれど工事費用がなくて結局できません。だから隈さんをお願いしました、みたいな。あんなことにはなりたくないというのが正直な意見なので、出せる、出せないはしようがないと思っているのですけれども、そういったところで、こうしたいというのだけ出してもらえたらなという感じです。
学校整備担当課長	おっしゃるとおりです。そういった諸元というのでしょうか、プールはどうなのとか、そういったことも第3回等々にこういった前提条件

	で考えていますということはお伝えした上で皆さんに議論をしていた だきたいと考えております。
学童クラブ整備担当課長	私のほうから学童クラブの職員を呼んでほしいというご意見について お答えさせていただきます。 まず、娘さんからそういうことを言われたということで、娘さんが学 童の職員のことを思ってくれてそういう話をしてくれたのだなと思っ てすごくうれしく思っています。ありがとうございます。 ただ、正直、現場側の人間でございますので、特にこういう時間は子 どもを見るのが現場の職員の仕事というのが1つあります。 もう1つは、そもそもこの懇談会場につきましては利用者の方のご 意見をお伺いするというのが前提となっております。この計画を進め るに当たっては、まずは地域の方、学校、あとは学童の保護者の方、い ろいろなご意見を聞きながら新しい学校の考え方であるとか、そういう 大きいフレームを決めて、最後にそこに学童を入れようねとなった暁に は、桃井児童館も桃一学童も直営と委託の違いはありますけれども、あ くまで区立で、いわゆる運営側ということでその立ち位置に差はありま せんので、こういう話になっているよとか、実際に設計に入っていっ たらどういうしつらえにしようかというところは、いわゆる運営側とし てはしっかり現場の意見を聞きながらこれまでもやってきております ので、この場はそういった場であるということをご理解いただければと思 います。
委員	分かりました。
学校整備担当課長	あと、保育園の先生とかの話ですけれども、基本的には今、学童クラ ブ整備担当課長が申し上げたとおり、こういった会に、皆さんも本当 にお忙しい中調整していらっしゃると思うので、通常、小学校につ いてはこういったメンバーでやっていることが多いということと、保 育園などにはこちらの資料にもあった改築ニュースというのを近隣の保 育園や幼稚園などには配布して情報共有をして、適宜ご意見なども頂 いていたりしますので、そういった形でご意見を頂ければなと考えてい るところです。 また、前校長先生を委員に入れるかどうかというのは、基本的には教 育関係者として校長先生、副校長先生もいらっしゃいますし、前校長 の魂は引き継いでいると思いますし、また、本日いらっしゃっていません けれども、桃一小の校長を経験されている方が委員の中にもいらっしゃ いますので、教育内容についてはカバーできるのかなと考えています。 また必要があれば直接お話をお伺いするなどして対応できればなと考

	えているところです。
委員	分かりました。ありがとうございます。 そうしたら、私のほうで前校長なり保育園の先生なりに聞くということとは別に構わないですか。要するにニュースが出るまでにタイムラグがあって、懇談会の資料をいつ出すのかというのは皆さんもお忙しいと思っているので、出すのに時間がかかるのは分かります。 ただ、今現状ミートだろうと、例えば会わなくてもオンラインという手があるのと、利用者という話をしましたけれども、学童クラブの人も現場という利用者ですよね。学童クラブを利用しながら子どもたちを見るという現場の利用者だと思っているので、そこを連絡しているからいい、共有しているからいいというのは一方的過ぎるなと感じてはいるので、個々に別に話をしてもいいということであれば、私から少しお話をさせていただけたらなと考えております。
学校整備担当課長	基本的にはいろいろなチャンネルからお話をお伺いしたりというのは混乱する場合がありますので、まず懇談会は基本的にはこのメンバーで行いたいのと、もしお伺いする場合はきちんと私たちのチャンネルで話は聞き取って、聞いた場合は共有をしていくという形でやらせていただきたいなと考えております。 また、学童クラブの職員などについては直接学童の担当から使い方、部屋割りとかは必ず聞いているので、意見を反映できないということではないので、それはご理解いただければと思います。
委員	分かりました。ありがとうございます。
委員	2点質問させてください。まず学童クラブについて、次にプロジェクト全体の進め方についてお聞きします。 学童クラブについて確認させてください。現在、桃井児童館内の学童クラブと校内の桃一学童クラブの2つがありますが、今回の改築に合わせて、桃井児童館の学童クラブを校内に移転・統合するという理解でよろしいでしょうか。
学童クラブ整備担当課長	言い方の1つとしてはそういう言い方になろうかと思います。ただ、今、桃井児童館内の学童クラブがあって、桃一小の中の学童クラブがあって、根本としては、小学校の中に学童クラブを入れていきたいというのがまず根本にあります。
委員	小学校内に学童クラブを集約するという区の方針が先にあり、それに基づいて統合を進めるという理解でよろしいですか。
学童クラブ整備担当課長	学校から帰らないで学童クラブに行けるというのが安全面で非常に有利な点というところがあるので、まずそういった考え方が1つあっ

	て、学童クラブを小学校の改築に併せて整備したい。ただここは、従前待機児童対策で既に1つ学童クラブが入っているという状況がありますので、これまでは学校内に学童がない状態に入れたいですという話だったのですが、要は需要の半分を満たす学童クラブがありながらですけども、基本方針の考え方にのっとって将来的な需要を満足するぐらいの、校内の第2と言えればいいのですかね。
委員	「校内の第2」という表現の意味を確認させてください。
学童クラブ整備担当課長	校内の第2と言いますか。
委員	要するに融合するのですよね。融合させたいということですよね。
学童クラブ整備担当課長	そうですね。ただ、考え方としては、運営上は杉並区……。
委員	別々なのですか。
学童クラブ整備担当課長	運営主体が別々という意味ではありません。
委員	民と官で別々ではないですか。
学童クラブ整備担当課長	今は民と官で別々です。それは統一する考えはあります。別々でというのは考えにくいので、ありますけれども、例えば1つの空間で200人規模の学童クラブがいいのかというところになると、区の事例で例えば高円寺学園で198人とか、杉並第二小学校で1のクラブで220人というところがあるので、そこは規模感としては課題があるよねということで我々も捉えているので、200のボリュームが必要な状況になっていますけれども、こういった形で小学校内に入れたらいいのかというのを、ご意見を聞きながら考えていきたいと思っているということです。
委員	桃井児童館は学校から近い距離にありますますが、それでも校内に統合する理由は、児童の通所時の安全確保が主な目的という理解でよろしいでしょうか。
学童クラブ整備担当課長	これは皆様のご意見を伺った上でですけれども、区のデフォルトの考えとすれば、将来的には、いずれは学童クラブの需要もピークアウトしていきますので。
委員	そこについてなのですけれども、ピークアウトしないと思うのです。
学童クラブ整備担当課長	私が言っているピークアウトというのはかなり将来的な話なので。
委員	何年後ですか。
学童クラブ整備担当課長	10年スパンだと思っています。

備担当課長	
委員	10年後でもならないと思います。だって専業主婦がいなくなってこれだけ父母両方で仕事をしている。フルタイムですよ。学童の需要は学生数と同じくらいになると思いますよ。
学童クラブ整備担当課長	分かりました。ちょっと今お答えをしたいのでごめんなさい。
委員	ごめんなさい。失礼しました。
学童クラブ整備担当課長	どこまでしゃべっていたのか忘れてしまいました。
委員	統合にはコストがかかりますが、区の方針として学童クラブの校内整備を優先するという前提があるということですね。承知しました。
学童クラブ整備担当課長	区の考え方として、学校の中に学童クラブは収れんさせていきたい。かつ、需要に応える形の規模でしていきたいと。 併せて、桃井児童館はそんなに大きな児童館ではなくて、今、実は2階の全てが学童クラブになっています。児童館は部屋が2つぐらいしかなくて、あとはホールという状態なので、学校内にもし移転することができれば、学校以外の居場所としての児童館として機能が強化しやすいというメリットもあります。 ただこれは整備する、新しく改築する校舎について教育活動に支障ない前提で、そのボリュームを確保した上で学童クラブを校内に入れることができるかどうかということにかかってきますので、今日この時点で必ず入れたいとか、そういうことではなくて、基本的な考え方をお示しさせていただいているということになります。
委員	ありがとうございます。学童クラブの統合に関する資料について、区の方針と桃一小への具体的な適用の関係がもう少し整理されているとわかりやすいと感じました。 次に、改築プロジェクト全体について2点確認させてください。1点目は、本事業の主管課と意思決定の構造についてです。財源の確保を含め、最終的な事業責任を負う部署はどこでしょうか。 もう1つは、11 ページにスケジュールが書いてあると思うのです。これが多分マスタースケジュールというか楽観スケジュールであって、私がこういう解釈で合っているかなというのを確認したいのは、これがマスタースケジュールでありつつ、きっと天沼中があってもお金がたくさんかかったら、今回はちょっと同時に杉並2つは無理だよねと。悲観スケジュールとしては天沼が終わった後にやる。つまり遅らせてやるというパターン。もう1つはパターン3としては、お金厳しいから長寿命化

	に振り切るのかなというこの３パターン。楽観パターンが普通にこのまま行けるよ。ちょっと遅らせてやるよという第２パターン。第３パターンはやっぱりお金ないし、もうちょっと延命させて考えようという３パターンになるのかなと解釈しましたけれども、合っていますかという質問です。
学校整備担当 課長	ご質問ありがとうございます。 まず、オーナーというのは正確には区民の方になるのですが、ただ、事業の主管課としては学校運営課と学童クラブをつくりますので児童青少年課という、この２つが主管課ということになります。 スケジュールの話で、おっしゃるとおりではあるのですが、改築事業は今かなり複数が進んでいるところで、それぞれ杉並区の実行計画に位置づけられて、改築の時期が重ならないように少しずつずらしながら計画を立ててやっているという部分と、こちらの「学校施設整備計画」を御覧いただきたいのですが、こちらの27ページになるのですが、どの学校を改築にするのか長寿命化するのかというのは、この改築のフローに併せて、こちらは改築しなければいけないね、こちらは長寿命化しなければいけないということで、振分けをした上で、今それぞれ並行してやっているところですので、基本的には改築事業についてはお示ししたような改築スケジュールを想定しているところです。 ただ実際のところ、今後、桃一小の改築についてはこれをベースには考えていますけれども、実際に今後プランを作っていく中で、いろいろ、どのような配置で進めていくのかというので、工事のスケジュールは変わってることがあります。それは設計を進めていく中でより詳細なものはご提示するということになると思います。
委員	ありがとうございます。スケジュールの件について補足で伺います。改築と長寿命化の方針判断は、どの段階で行われるのでしょうか。事業費が確定した後に見直される可能性はありますか。
学校整備担当 課長	分岐というのは、既に施設整備計画をつくる段階で各学校のコンクリート強度であるとか中性化の度合いであるとかそういった物を調べた上でこちらのほうで振分けをしているところですので、桃一小については基本的には改築というところで考えていますので、この段階から長寿命化というのは考えておりません。
委員	私のイメージは、お金がなかったら仕方がないと言って、遅らせるか長寿命化しかないという話なのですが、だとしても振り替えないと言っていますか。
学校整備担当	こちらの桃一小の改築計画については、区の実行計画に位置づけられ

課長	ていて、それは基本的にはある程度予算も取りますよということで区の中でオーソライズされた計画になっておりますので、基本的には桃一小の改築については計画どおり進めていくと考えているところです。
委員	正論としてはそうだと思うのですけれども、40億のプランをつくって60億来たら絶対無理ではないですか。
学童クラブ整備担当課長	学童クラブのほうも行政計画にも載っているので、補足のお話をしますけれども、ご指摘のとおり区の事業なので、最終的には予算の実行というのは議会の議決が必要になります。 ただ、それを進めるに当たって、いきなり大きいものを議会に提案するというのではなくて、基本的には我々の言い方で言う「総合計画・実行計画」という区の行政計画をつくって、その中で大きいものについてはある程度このくらいの規模のお金がかかりますということも含めた上で、こうやっていきますという計画をつくります。 それも議会に出して、その上で詳細な予算等々についてはこういった場での意見を踏まえて、行政側で予算計上して計画に基づいて予算を上げる。それを議会に審議いただいて、最終的には議会の判断に委ねることになっておりますので、行政計画に載っている以上は基本的にはその行政計画をベースとして区も進めていきますので、万が一、何らかの事情でそれがかなわないというときには、その計画自体を変更するということが必要になりますので、現時点ではしっかりと行政計画に基づいて、学校のほうも学童クラブとしても、今この場に臨んでいるというところになりますので、ご心配の旨は非常に分かりますが、それを突き詰めてしまうと、議会に提示する前に、例えば金額は幾らとか、できないことの議論になりかねないので、基本的にはしっかりと行政計画に基づいて今この場が開かれているというところで、そこはご安心いただければと思います。
委員	ありがとうございます。仮に60億になっても頑張って詰めましょうという……。
学童クラブ整備担当課長	そういう話ではなくて、ちゃんとこれは議会にもこういう形でやっていきますよという形を行政計画としてお示しして、一定の根拠に基づいてやっていることになりますので、そこはご安心いただければと思います。
委員	懇談会を実効性のある場にしたいと考えて確認させてください。配置案等について懇談会としての意見が分かれた場合、意思決定の方法はどのようなになりますか。
学校整備担当	最終的には議決権といいますか、決定は区の会議に諮って意思決定と

課長	いう形にはなりますけれども、皆さんからご意見をお伺いし、懇談会としての総意として、まずまとめをさせていただき、区で意思決定を最終的に取る。そういうような流れになります。
委員	つまり、懇談会は総意を形成する諮問の場であり、最終的な意思決定は区が行うという構造ですね。
学校整備担当 課長	多数決を採って、どうという形には基本的にはしないです。皆さんからご意見を頂きながらできるだけ総意を得られるような形で進めていくという流れで今のところは考えております。
委員	ありがとうございます。懇談会の位置づけと意思決定の構造について理解いたしました。
委員	1つだけいいですか。聞きたい方がいれば先にどうぞ。 他の委員の方が手を挙げていらっしゃいます。
進行役	全体進行を考えなければいけないので、たしか2時間のお約束なので、ちょっと微妙になってきたのでよろしいですか。
委員	先ほどの委員の方が質問いただいたことに答えてほしいなと思ったことが1つあります。標準を考えているのが18クラスで、7,200平方メートルという考えだと思うのですが、桃一小の場合は1学年4クラスです。そうすると24クラスになるので、7,700平方メートルを標準というか、たたき台になると思うのですが、先ほど何クラスを考えているのですかみたいなお話を頂いたので、3クラスという考えではないですよねというのが1つと、4クラスで考えるべきだということから一応聞きたいのが、方針を出してからで全然構わないのですが、建築制限とかもあるわけではないですか。マイナス2,000平方メートル。そんなにもないと思うのですが、7,700を考えたときに1,900幾つくらいなのですが、それを造る分だけの建築場所はあるのですかという質問です。
学校整備担当 課長	まず、学級数については後にお示しするとして、18学級ではないです。24になるのか分からないですが、そこについてはきちんとお示した上で議論を進めたいと考えています。 あと、延床面積については建築制限がありますけれども、現時点で粗々に私たちのほうで線を引いた限りでは収まると考えております。
委員	今の区画だけで造るというイメージですね。
学校整備担当 課長	おっしゃるとおりです。ただ、詳細については今後設計に入った中でいろいろ検討していくということになります。
委員	分かりました。ありがとうございます。
進行役	時間が大分押してしまっているのですが、一旦先に進ませていただい

	てよろしいですか。 それでは、今度はこの懇談会の実施スケジュールです。これについてご説明いただきたいので事務局に一旦戻します。
教育施設計画推進担当係長	資料4の10ページを御覧ください。今回の懇談会のスケジュールになっております。第1回から第9回を考えておりまして、最終が令和9年5月ということで、ここで基本設計のまとめをお出しする形になっております。ただ、進め方につきましては今後の懇談会等の議論を踏まえて必要に応じて見直してまいります。 続きまして、参考資料5と6。事前配付資料で……。
委員	資料4ですよね。
教育施設計画推進担当係長	懇談会の開催予定については資料4になります。ここに記載のとおりです。これが1点目で、残りの2点なのですが、参考資料の5と6の説明が残っておりますので、ここを駆け足で説明させていただきます。
委員	天沼のやつは別に読みましたけれども、頂いたので。大人なので別に読んで分かればいいという話であれば、なしでもいいと思います。
教育施設計画推進担当係長	参考資料5なのですけれども、校舎改築ニュースでこれは天沼中学校の事例になっております。これは改築に当たりこのようなお知らせを発行して近隣住民の方ですとか、保護者の方に配布しておりまして、杉並区の公式ホームページにも出しているものです。 天沼中についてはこれまで3回ほど発行していますけれども、本懇談会についても改築内容の節目に発行してまいりたいと考えておりまして、今、内容の検討を進めているところなのでよろしくお願いいたします。1回目の内容につきましては大体天沼中与重なる内容かなと思っております。 もう1つ、駆け足で申し訳ありません。事前に配付した参考資料6です。先ほど読めば分かるというお話でしたけれども、内容としましては11ページから改築の基本方針がございまして、そこから校舎の配置ですとか平面図をどんどん具体化していく。そのような内容になっております。これはあくまでイメージとして分かりやすいものとしてお示ししたものでございます。 あともう1点なのですけれども、区のホームページに「桃井第一小学校の改築」というページがつい最近新しくできました。杉並区のホームページにアクセスしていただいて、キーワード検索で「桃井第一小学校の改築」と検索していただければそのページに行き着くようになっておりますので、御覧いただきたいと思います。 私のほうからの説明は以上となります。

進行役	この後ですが、基本方針、校舎の配置計画、平面計画の順で懇談会で意見を伺うということでございます。 今日は第1回目ということなので、基本方針・コンセプトの策定に向けて委員の皆様からご意見等をお話しいただきたいと思っているのですが、改築に期待すること、課題、先ほどの説明に対する質問等々と考えているところです。それから、学習環境とか防災、地域、住環境、学童クラブ等、様々な視点でお話しいただきたいと思っておりますが、残り時間が非常に際どくなってきましたので、取り急ぎ皆さんから一言ずつでもご発声をとしますので、この後簡潔に一言ずつということで時間を取りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 それから、当然ながら十分ご発言ができなかったという方がいらっしゃると思います。なので、そういった部分については事務局から席上配付ということでご感想シートというものを準備しているということですので、ここに書いていただきながら皆さんで事務局から共有することでお考えいただければということです。よろしくお願いいたします。 それでは、学識の方については一番最後にお話いただくということでよろしくお願いいたします。
委員	いろいろご意見、ご発言がありましたので、私が考えていたようなことは相当程度皆さんが発言していただきましたので、あえて今ここで言いますと同じことを聞くことになりますので、控えさせていただきます。 これからもこの会が今日のように活発に意見を出し合いながら進めていけば、よりよい案が出てくるのかなと思っております。 今日はありがとうございました。
委員	地域の町内会でどうのとか、なかなか難しい話になってきていますし、私は孫が2人、今小学校3年と5年に今お邪魔しているわけですが、彼らがいい学校に入りたいということになったときにはもう学校ができていますから、もう卒業してしまっているからあまり意味がないのかなと思いつつ、ただ、我々地域から見ればここは1つの誇りの学校ですから、それだけの学校にしてほしいという気持ちが非常に強いということだけお伝えしておきたいと思っております。ひとつよろしくお願いいたします。
委員	私は旧若杉小学校の震災救援所の担当もやっていました。現在立て直しといたしますか、全然違う形になることになったのですが、その前まではこの救援所を地域みんなでどう使っていこうか、委員会をどう動かしていこうか、そういった話合いの場にかなりたくさん出席させていた

	だいたのですが、結論は建て直し、取り潰し、救済所解散というところで、あの話は一体何だったのだろうという仲間内の声が若干数ある状態です。 この場は、これから子どもたちの生活の場だったり学びの場だったり新しくつくるところになりますので、旧若杉小はもう廃校になっているところなので、公園にしようが何しようが、消防署が来るのか来ないとか、そういった話は適切にうまく活用できるように今後使っていただければいいのかなと思いますが、ここはそういうことではないと思うので、ぜひ、保護者の皆さん中心にお子さんたちが住みよい、学びやすい場所をつくるというのを大前提に協議を進めていければと思っていますので、どうぞ区民の皆さん、私もそうですけれども、企業で活躍されているお父さん、お母さんもたくさんいらっしゃるの、ぜひそういった企業の立場として発言するようなこともたくさんあると思いますので、そういった面も併せてご理解とご協力を頂ければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
委員	私、先ほど何人くらいのクラスとか言いましたけれども、そうではなくて、私は上荻親和会でも毎年小学校に入学される方にお祝い3,000円をお支払いしています。ずっと前からやっているのですけれども、大体どこの学校に行くのか、私立、都立、公立でも構わないのですけれども、新しく会員さんの中で小学校に入学される方に。そうすると大体毎年13、14名です。それがこのところ2、3年減ってきました。9人とか10人とか、そういう感じで新しく入るお孫さんが随分減ってきています。ですから、学校の運営に対しても、これから公立学校であっても、そういうことを考えてやっていただきたいと思います。よろしくお願いします。
委員	お疲れさまでした。いろいろなご意見が出て、皆さん先のことを考えていらっしゃるなど。でも、総合計画とか実行計画の中で改築ということが決まっている以上は、そんなに私は心配ないのではないかなと思って聞いていましたけれども、まだまだ改築を希望している学校はたくさんあるので、逆に改築計画になったところはうらやましいかなと思っていて次第で、心配なく、子どもたちのために私たちがよりよい学校づくりを目指して考えていく場だと思っていますので、意見はたくさん出していただきたいと思いますが、子どもたちが、学童にしる居心地のよい、学童だと朝8時から夜7時頃までいるわけですから、本当に生活の場になるので住みやすい、楽しい、そしてそういう学校にしていこうように私たちが考えていけたらいいかなと思っています。よろしく

	お願いします。
委員	しゃべりすぎて申し訳ありません。先におわびを入れておきます。 先ほど聞きたいことは聞いたのと、娘の質問がどうしても心に引っかかっていたので話をさせていただいたのですが、今話したことによって、部長や整備担当の方もいろいろ考えていただけたというお話だったので、考えていただきたいたいところと、あくまで桃井第一小学校のためということを考えて上でやっていただきたいなと感じたので、杉並区で今までこういう事例だったからこうやりますというのは、なしにしたいなという場にしていきたいなと考えました。ありがとうございます。
委員	ありがとうございました。皆様のご意見を聞いてすごいなと、そういうところまで考えているのだなとすごく感じました。 今、ここにいるのは大人だけなので子どもたちの意見をアンケートなのかワークショップなのか、何らかの形で取り入れられる機会があるのもっとよくなるのかなと、これはもうちょっと先の段階かもしれませんが思いました。 あとは、どうしても改築というと、建物、ハードの話になってしまうのですが、周辺とのつながりというソフトの、イベントの開催のことだったりとか、そういうところまで考えていい学校につくり上げていけたらいいのかなと最初の回で思いました。ありがとうございました。
委員	今日はありがとうございました。建築費に関してはなるべくスリムに、施設の充実度としてはワイドな計画が立てられたら一番いいのかなと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
委員	本日はありがとうございました。充実した資料をご準備いただき感謝いたします。改築の実現可能性を踏まえた現実的な計画を、委員の皆さんと一緒に検討していければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
進行役	ありがとうございました。一通り皆様からお話を伺ったので、最後、学識委員の先生からよろしいでしょうか。
委員	時間が迫っているので、もしかしてちょっとだけ時間をオーバーしてしまったら申し訳ありません。 今日は、皆様すごく積極的に意見を言うてくださっていて、桃井第一小学校の改築にすごく意欲的にコミットしていこうとされる、そういう懇談会になるのだなと確信を持ってました。 その上で、意見聴取をどうしていくかという点のコンセンサス、合意

形成みたいなことがとても大事なのかなと思ひまして、3点あるのですけれども、まず懇談会レベルでの意見聴取について。それについては、恐らく懇談会で求められているのは大枠の理念だとか実施計画についての意見共有なのではないかなと思うのですけれども、現時点で私たちに求められていることは何で、私たちが影響を与えられる範囲はどの程度なのかということがはっきりしていないということが今日の様々な質疑の背景にあるかなと思いますので、その求められていることと私たちが影響を与えられる範囲ということについて、次回、区の皆さんから返答があったらいいなということ。

そして、これだけいろいろな方が意見を言うてくださってとてもうれしい、充実した懇談会になりそうだなと思うからこそ、委員の側でこの点については意見を反映させてほしいというところがあるのであれば、その点について早く意見を伝えておけるといいのかなと思いました。

そして2点目について。子どもの意見をどう聞くかということについては、先ほど篠寄さんがおっしゃったように、一番のステークホルダーは子どもですよね。そう考えると、恐らく基本方針を決めたり、校舎の配置をどうするかということを考える際にぜひ子どもの意見を何らか聞いて、吸い上げていただくことができるような方法を取っていただけたらと思いました。

また、3点目の地域の人々の意見を聴く機会ということについては、最初に委員の方がいろいろおっしゃったのも、自分たちから見てステークホルダーという考える人のほとんどが意見を聞いたり情報を得るチャンスがないではないかということだと思うのです。なので、子どもについては子どもの意見を学校内で聴き取っていただく機会をぜひつくっていただけたらと思いますし、地域の人たちからの意見聴取ということに関しては杉並区得意のタウンミーティングもあるかと思ひますので、関心のある方が今こういう計画になっている、それに対して自分たちはどう思うという、そういう意見交換をする機会をぜひ設けていただけたらと思いますし、最初、自己紹介のときに私の息子が通っていた小学校も建て替えの計画中だという話をしたのですけれども、そこは町内会の方とのやり取りをしつつも、2回くらい住民に開いた情報懇談会みたいなものを実施していたので、資料4の10ページには懇談会の開催予定が書かれていますし、資料11が改築スケジュールとなっておりますが、それ以外の、地域住民、子どもの意見を反映させる機会がどのようにあるのかということについても、機会を準備いただけたらと思いますし、それをお示しいただけたらと思いました。

	最後にもう１点思ったのは本当に皆さんの意欲が高くて、さすが杉並区と思ったのですが、区長選が昨日終わったけれども、区長選が終わるまではなかなか区としてもどういう方向になるのかも分からないで方向を示しづらかったというところもあるのではないかと思います。 これから４年、落ち着いて、不祥事とかなければ取り組んでいけるはずなので、その中でできるだけ知りたいと皆さんが思っているからこそ情報を開示して共有していただけると、すごくいいのではないかなと思いました。 児童館の質問もありましたが、私も杉並のことに詳しくはないのですが、荻窪児童館も学童保育がパンク状態でずっとやっていて、本来の児童館の在り方が実現できないような状況の中で、ずっと児童館が運営されていたということがあるので、桃井児童館から学童が分離されて桃井の本来の学童が実現できるといい機能が実現できるのであれば、それはいいのではないかなと思うので、児童館の在り方についての基本方針として私たちはこう思っていますよとか、そういう情報を提供していただいたらその情報を基に考えていきたいと思ってくださる。そういう懇談会の皆さんだと思いましたので、そういう信頼感を持って区の皆さんに情報提供していただきたいなと思いましたし、何が求められていて、私たちの意見はどこまで反映されるのか、そして委員の方がおっしゃったような、いろいろ意見を言ったけれども結局どうなったのということならないのだという、桃井第一小学校の改築は大丈夫だよという信頼感を持って皆さんで進めていけるように、チームを組んでやっていけたらいいなと思いました。どうもありがとうございました。
進行役	ありがとうございます。皆様からのお声を取りあえず聞けたのでほっとしておりますが、本当に桃一小のことをこんなに考えてくださっていることに私からも御礼を申し上げます。それから時間を超えてしましましておわびいたします。申し訳ありませんでした。 ただ、もうしばらく連絡事項とご挨拶というのがありますので、事務局からお願いしたいと思います。
教育施設計画 推進担当係長	事務局から連絡事項が３点ほどございます。その後、第２回開催回の日程をご案内したいと思います。 連絡事項の１点目ですが、本日の会議録について、１か月くらいをめどに皆様に案をお送りいたします。内容をご確認いただき、修正の必要があればご連絡をお願いいたします。懇談会の資料と議事録につきましては、後日区のホームページに掲載する予定ですので、よろしくお願いいたします。

	2つ目です。お手元にお渡ししておりますご感想シート、アンケートシートですが、こちらにご記入いただきましたら本日の懇談会終了時に回収いたしますが、皆様、まだいろいろ言い足りないこととかそういったこともあると思いますので、後日回答も可能です。その場合は返信用封筒を差し上げますので、職員のほうに声かけください。あと、メールでも回答可能になっておりますので、そのことは裏面に書いておりますのでよろしくお願いいたします。 3つ目ですけれども、委員謝礼の支払いにつきまして、事前に口座振替依頼書を郵送させていただいておりますので、そちらを出口で職員にお渡しいただければと思います。こちらを後日提出される場合には、7月10日までに郵送をお願いいたします。封筒もお渡しいたしますのでお声かけください。 連絡事項は、以上の3つです。 あと、第2回懇談会の開催日程ですけれども、7月27日月曜日。こちらは施設見学を予定しております。桃井第二小学校と杉並第二小学校。両方とも最近改築された新しい学校になっております。時間等は調整中なのですけれども午前中からバスの移動を予定しておりまして、もしかしたら午後にかかるかもしれないので、それくらいの日程で押さえていただければありがたいです。 第3回目の懇談会開催は、8月28日金曜日。こちらを午前を予定しておりますので、第2回、第3回ともに別途、開催通知を差し上げますので、よろしくお願いいたします。
委員	今後の開催通知や資料の送付はメールでも対応いただけますか。
教育施設計画推進担当係長	メールでも差し上げることはできます。もしよろしければ、メールアドレスの提供もお願いしますという紙がもう1枚あると思いますので、よろしければそちらのほうで情報提供いただければと思います。
委員	第2回以降の開催日程は、本日の配付資料には記載されていないということですね
教育施設計画推進担当係長	書いてないです。 メールアドレスがない方ですとか紙の資料提供のほうがいいという方はその旨おっしゃっていただければ大丈夫です。 事務局からは以上になります。
進行役	それでは最後に、閉会に当たり学校運営担当部長よりご挨拶があります。
学校運営担当	皆様、本日は本当に熱いご議論、ご意見を頂きましてありがとうございます

部長	いました。様々宿題も頂いておりますので、しっかりそれに対応していきたいと考えてございます。 特に、コスト的な面から改築に影響があるのではといったお話がありました。これについては、先ほど事務局からの説明もございましたが、まず、区では基本構想という目指す姿がありまして、それを実現するために総合計画・実行計画等があります。それらの中に学校の安全性をしっかりと確保していかなければいけないということも、またその観点から改築する学校や長寿命化する学校等が記載されています。 その中に桃一小が入っておりますので、区議会で改築したほうがいい学校という同意を得ているものですから、改築というその方向性は皆が共有しているものだと考えております。 ただ、コスト的なところは実際にどういう部屋が幾つ必要で、こういう建物になったら幾ら必要になるかというのは、設計を基に細かく計算しないと決まらないところもあります。それには皆さんからいただくご意見等を踏まえ、一番望ましいと思える設計ができて、そこから予算額が算出できて、この間、適宜、区的意思決定や区議会への報告等を行いつつ、この予算額について、議会での審議を経て議決されますと実際に改築に入っていくという流れになってまいります。ですので、議決をもらうための案をつくっていかないことには改築に向けた一步を踏み出せないで、そのために皆さんのご意見を頂きたいと思っております。 私どもも、今皆様からお話がありましたように、本当にいい学校にしていきたい、その思いは一緒でございます。懇談会は回数もあり、資料もたくさんある等で、皆様に多くのお時間を頂くかと思いますが、ここはぜひ子供たちや地域の方々のために、皆様のご協力をいただければと思います。私どももできるだけ情報提供をしながら、そして皆さんとやり取りをしながら一步步進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 次回は学校施設見学で、近年改築されたところを見て回ります。イメージがしやすくなることや、ご参考になるところもあると思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。皆様、本日はどうもありがとうございました。
進行役	それでは、本日はこれで閉会といたします。長時間ありがとうございました。